

ハラスメントアンケートの結果について（令和7年度）

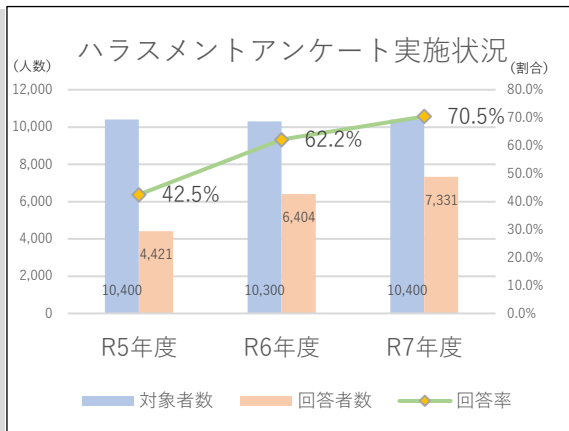
1. アンケートの概要

庁内におけるハラスメントの未然防止等に向けた取組の一環として、職員間のハラスメントに関する認識等について、アンケートを実施した。

- ・実施期間 令和7年12月1日（月）～12月26日（金）
- ・対象者数 約10,400人（常勤：8,600人、非常勤：1,800人）
- ・回答者数 7,331人（常勤：6,430人、非常勤：901人）
- ・回答率 70.5%（常勤：74.8%、非常勤：50.1%）

【備考】

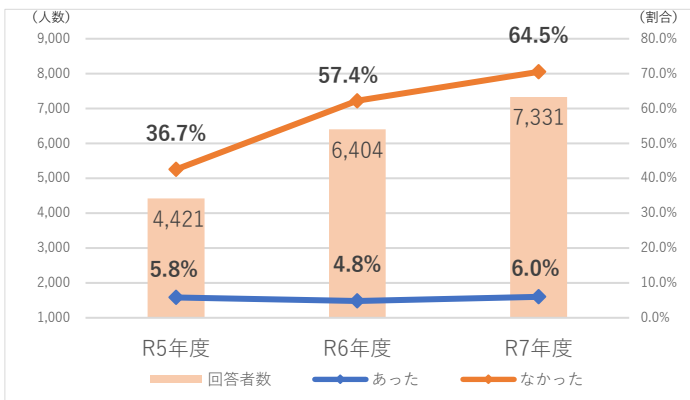
※本アンケートは、回答者の認識について記入したもの。
 ※ハラスメントの認定にあたっては、被害を受けたとされる方の意見だけでなく、行為者とされる方への確認や、その状況等を総合的に考慮する必要があるため、回答のすべてがハラスメントと断定するものではない。



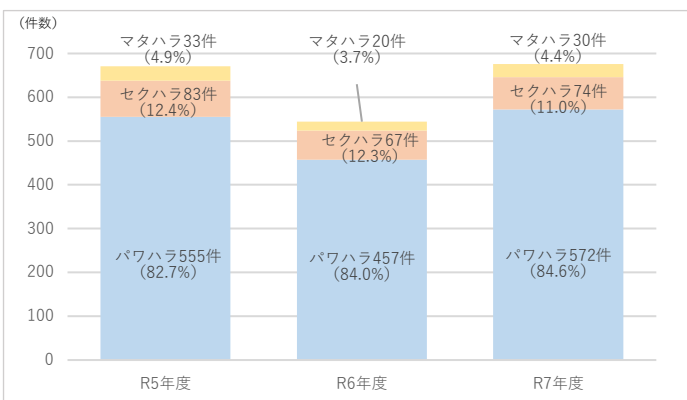
2. アンケート実施結果の概要

- ・アンケートの回答数は年々増加し、70.5%と前年度から8.3%増加している。
- ・ハラスメントがなかったと回答する割合は64.5%と前年度から7.1%増加しているが、自分自身がハラスメントと疑わしい行為を受けたことがあったと回答した割合も6.0%と前年度から1.2%増加している。
- ・自分自身がハラスメントと疑わしい行為を受けたとする件数は前年度から増加し、ハラスメントの区分（パワハラ、セクハラ、マタハラ）の割合は、前年度と同様の傾向。

【自分自身へのハラスメントと疑わしい行為の有無】



【自分自身が受けたハラスメントと疑わしい行為の件数※】



※パワハラ（脅迫、無視等）、セクハラ（身体接触、性的言動等）、マタハラ（嫌がらせ等）に区分しており、1名が同一区分内で複数選択及び複数区分の選択が可能。

3. 今後の対応について

- ・アンケート調査の回答率は向上しているものの、ハラスメントがあったとする回答が増加していることから、令和8年度においては、これまでの取組に加え、周囲でハラスメントが発生した際にとるべき対応を学ぶための「アクティブ・バイスタンダー研修」を新たに実施するなど、ハラスメントの防止に向けたさらなる取組を推進する。

（参考：これまでの取組）

- 全職員を対象としたWEB研修の実施
- 職階別研修の実施
- 「ハラスメント撲滅月間（12月）」の実施
- 全職員を対象としたセルフチェックの実施
- 知事動画メッセージ等の発信
- 職員アンケートの実施 など